

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築技術者倫理		担当教員	下村 波基		
学年学科	4 年 建築学科		後期	必修	1 単位 (学修)	
学習・教育目標	(A-2) 70%、(D-3 安全系) 30%		JABEE 基準 1 (1):(b)(d)			
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 技術者は単にその技術を駆使して科学技術の進展のみを考えればよい時代は過ぎ、常にその技術が社会に与える影響を考えなくてはならない。本授業は、技術者倫理とは如何なるものかを説き、技術者として身を立てる上で如何にあるべきかを自省する契機を与えるものである。 技術者倫理とは何か 建築技術者・設計士はどうあるべきか			<b>成績評価の方法：</b> 技術者倫理に関する課題レポート 30 点 (6 課題) 技術者倫理に関する試験 100 点 の総計 130 点の得点率 (%) で評価する。 <b>達成度評価の基準：</b> 技術者倫理について技術士の一次試験問題程度の課題 / 試験で 6 割以上の正解が導き出せるレベルに達している 技術者倫理とは何か、なぜ必要かが理解できる 建築技術者・設計士はどうあるべきかが理解できる なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 技術者倫理に関する授業は、ビデオ教材・プリント等により実施し、適宜内容に即した課題の成果物によりその習熟度を確認する。個々の課題では熟慮を要するので、思考能力を常に高める日頃の自己啓発が必要である。 また、建設業に永年従事し経験を積んだ本学科の卒業生が、現場で直面した倫理観に関する講話を開催する予定である。						
<b>教科書および参考書：</b> 教科書： 電子ファイルを資料として配信						
授業の概要と予定：後期			教室外学修	AL のレベル		
第 1 回：技術者の責任：Citi Corp Center 事例紹介			資料の収集とレポート作成			
第 2 回：技術者の責任：Citi Corp Center 調査			資料の収集	C		
第 3 回：技術者の責任：Citi Corp Center 報告			資料の収集とレポート作成	C		
第 4 回：技術者の責任：Ford Pinto 事例紹介			資料の収集			
第 5 回：技術者の責任：Ford Pinto 調査・報告			資料の収集とレポート作成	C		
第 6 回：説明責任・内部告発に関する Topics 的事例紹介と調査			資料の収集	C		
第 7 回：地球環境の保全やエネルギーに関する Topics 的事例紹介			資料の収集			
第 8 回：中間試験						
第 9 回：地球環境の保全やエネルギーに関する Topics 的事例の調査			資料の収集	C		
第 10 回：ハインリッヒの法則と技術者の対応に関する事例			資料の収集とレポート作成	C		
第 11 回：技術者倫理に関する Topics 的事例紹介			資料の収集			
第 12 回：卒業生講話 (企業で体験した事例紹介)			講話内容の確認と職業倫理に関するレポート作成			
第 13 回：技術者倫理に関する Topics 的事例調査・報告			資料の収集とレポート作成	C		
第 14 回：コンプライアンスに関する Topics 的事例の紹介と調査			資料の収集とレポート作成	C		
期末試験						
第 15 回：著作権、期末試験の回答・解説など						

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
	術者倫理とは何かと問われた時、8割程度の正答ができること	術者倫理とは何かと問われた時、6割程度の正答ができること	術者倫理とは何かと問われた時、6割程度の正答ができない
	築技術者・設計士はどうあるべきかと問われた時、8割程度の正答ができること	築技術者・設計士はどうあるべきかと問われた時、6割程度の正答ができること	築技術者・設計士はどうあるべきかと問われた時、6割程度の正答ができない